

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ミニプロ			
○保護者評価実施期間	2026年 2月 16日	～	2026年 3月 6日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	8
○従業者評価実施期間	2026年 2月 16日	～	2026年 3月 6日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 10日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが安心感を持って、楽しく通うことができている	事業所内の雰囲気は明るく、楽しくなるよう心掛けている。子どもたちが「やってみよう」と思えるようなプログラムをスモールステップで考え、保護者の皆さまとも『できた』とともに積み重ねていけるよう工夫している。	「子どもたちから教わる」ことをこれからも大切に、子どもたちから意見が出た活動なども積極的に取り入れていく。 たくさん『褒める』ことを意識し、すべての子どもたちにとって安心して過ごせる場所の1つとなるよう工夫していく。
2	日頃から子どもの状況を伝え合い、健康や発達状況について共通理解が取れている (すべての方に「はい」と回答いただけた)	親子通所の強みを生かし、実際に子どもたちが活動している場を見てもらっている。子どもたちの『できた』『たのしい』を一緒に共有しつつ、家庭や園での様子についても話をしよう心掛けている。	引き続き、親子通所の形を継続しながら、子どもたちの成長とともに感じることでできる環境づくりを行う。
3	子どもの特性や状況に応じたプログラムを取り入れ、支援を実施できている (すべての方に「はい」と回答いただけた)	子どもの年齢や発達状況、特性に応じてまずは遊ぶような感覚で、体を動かすことができるようプログラムを工夫している。 保育園・幼稚園で取り組んでいる運動にもつながる遊びを少しずつプログラムに反映している。	保護者の皆さまとはもちろんのこと、保育園・幼稚園、他事業所と連携を図りながら、いまその子にあったプログラムを検討していく。 定期的に外部講師に来ていただき、子どもの特性や状況に応じたプログラムのアドバイスをいただき、活動に反映していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各マニュアルなどの説明や避難訓練の実施状況の説明が不十分だった	非常災害時の避難場所や方法について共通認識を図り、訓練を実施しているが、保護者さまへのお伝えが不十分だった。 各マニュアルについても作成していることを、契約時には説明するが、わかりやすいものではなかったように感じる。	事前に子どもや保護者へ丁寧に説明をした上で、活動中に避難訓練を実施する。スタッフのみで訓練を実施した場合にも、SNSや連絡アプリを通して情報を発信していく。 各マニュアルについても、閲覧しやすい場所に設置し、周知していく。
2	保護者の皆さまに対して、育児に関するアドバイスや専門的な視点での発達状況や課題の共有が不十分な点がある	事業所スタッフの知識や経験が不足している。活動を実際に見てもらうことで、子どもの様子を共有している部分があったが、その日の活動の目的や意図のお伝えが不十分だった。	研修に参加をしたり、講師の先生から助言をいただき、知識をつけ、実践しながら経験を積んでいく。 活動の目的や意図を言語化できる力をつけていく。 保護者の皆さまと話をしやすい環境を作り、細やかな情報共有を行っていく。
3	ご家族の皆さまも参加できる研修の機会や情報提供の機会の提供が少ない	ご家族も参加できる研修の情報収集や発信が不十分だった。 保護者会の開催ができていなかった。	県や市から発信があった研修については、その都度ご家族の皆さまにもお知らせする。 地域の児童発達支援センターなどと連携し、情報共有を図り、スーパーバイズを受ける機会を設ける。 保護者会を開催し、保護者同士やきょうだい児同士が交流できる機会を作る。